

鎌仲ひとみ監督作品

（香港国際映画祭 2012）（山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011）  
正式出品 正式出品

# 小さき声のカノン

— 選択する人々 —

Little Voices from Fukushima Directed by Hitomi Kamanaka

希望は「ナニ」もある

1986.4.26  
Chernobyl

2011.3.11  
Fukushima

福島ーチェルノブイリ  
国境を越えて  
「被ばく」から子どもを守る  
母たちのドキュメンタリー

特別先行上映

2015年1月31日(土)

小さき声のカノン上映

①10:00 ~ ②15:30 ~

上映後 鎌仲ひとみ監督トーク

①12:00 ~ ②17:30 ~

2015年1月31日(土) ①13:30 ~ ②19:00 ~



おいしくて、そして心に効くドキュメンタリー映画

# よみがえりのレシピ

出演：江頭 宏昌、奥田 政行、在来作物を守り継ぐ人々

プロデューサー：高橋 卓也 監督・編集：渡辺 智史 撮影：堀田 泰寛 音楽：鈴木 治行 整音：石寺 健一

2011年/日本/HD/95分/製作・配給：映画「よみがえりのレシピ」製作委員会/宣伝：スリーピン

協力：東北芸術工科大学 東北文化研究センター 山形在来作物研究会 助成：文化芸術振興費補助金 写真提供：東海林 晴哉

<http://www.y-recipe.net>

@y\_recipe

www.facebook.com/yomirepi

監督 鎌仲ひとみ × 音楽 Shing02 × 製作 ぶんぶんフィルムズ 「ミツバチの羽音と地球の回転」に続く長編ドキュメンタリー映画

[www.kamanaka.com/canon](http://www.kamanaka.com/canon)

2014年/カラー/デジタル/119分/配給：黒澤テレビトラスト

私たちの暮らしは食とエネルギーでなりたっています。  
 次世代に安全と安心な食とエネルギーのありようを伝えるために・・映画を通してつながりあい、伝えたい。  
 そして、選択をしてください。

## 小さき声のカノン

— 選択する人々 —



はじめはみんな、泣き虫なブツのお母さんだった。

福島原発事故後、事故による影響は安全である・危険であるといった議論はあるが、その影響を受けた場所で、懸命に生きようとしている人々がいる。そんな人々の本当の声は聞こえているのだろうか。  
 チェルノブイリ原発事故は、福島の事故よりも25年も前の事だが、今なおその影響が続いていることは、実は知られていない。かつてチェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、子どもたちに何が起きているのか。  
 お母さんたちは、どうやって子どもを守ろうとしたのか？ 日本のお母さんたちと同様、不安を抱いたお母さんたちが大きな声に流されることなく、自分たちの直感にしたがって子どもたちを守る道を探し続けている。  
 事故の衝撃に立ちすくみ、ただ困惑している時期は過ぎた。希望を具体的に作り出す新しいステージに今、私たちは立っている。  
 迷いながらも日本のお母さんたちが自分たちの意志で動き始めた。  
 そんなお母さんたちの小さな声が、国境を越えて響き始める。



## よみがえりのレシピ 在来作物と種を守り継ぐ人々の物語

ざいらいさくもつ たね



栽培者自身が種苗を管理し守ってきた在来作物(ざいらいさくもつ)は、世代を超えて地域に受け継がれてきました。しかし、品種改良された作物より収量が少なく、病気にも弱いことから市場で評価されず、多くは消失してしまいました。そんな時代に独自の料理法で在来作物の存在に光を当てた、“山形イタリアン”「アル・ケッチャーノ」の奥田政行シェフ。野菜の個性的な味・食感・香りを生かした料理には、新鮮な魚介や肉と、地域の風土や物語も盛り込まれます。また、焼き畑農法を研究する江頭宏昌先生は、「ここにしかない価値」を秘める在来作物が地域再生の起爆剤になると確信しています。さらなる主役は、手間を惜しまず種(たね)を守り続ける農家の人たち。その笑顔と心意気を感じることで、何気ない日々の生活が少しだけ違って見える、そんな魅力が『よみがえりのレシピ』には溢れています。

**会場** 岡山市シティミュージアム 4階  
 岡山市北区駅元町 1 5

**入場券** 前売券=1,000円・当日券=1,300円  
 各コマ 高校生以下・障がい者 前売・当日共通=500円

**託児** 各コマ=1人 300円・定員 10名  
 託児 1 = 小さき声のカノン + 鎌仲ひとみ監督トーク (10:00-13:00)  
 託児 2 = 鎌仲ひとみ監督トーク + よみがえりのレシピ (12:00-15:10)

**プレ企画** 伝統野菜を暮らしの中に一育てる 食べる 伝える **入場無料**

主催：おかやまエコマインドネットワーク  
 【申込 E-mail bokuranomirai39@gmail.com 問合せ 080-5756-6180 (アカイ)】  
 助成：(公財) おかやま環境ネットワーク (公財) 岡山県環境保全事業団  
 後援：岡山市 倉敷市 瀬戸内市 岡山 ESD 推進協議会  
 協力：エコロジー東備 岡山西温暖化対策地域協議会 吉備の国エコライフ 倉敷・総社温暖化対策協議会  
 岡山映画鑑賞会 岡山映画祭 岡山食べ物通信読者会 ミツバチ岡山 エコウェブおかやま  
 とみやまエコクラブ 子ども未来・愛ネットワーク 岡西吉備つながり広場中撫川東さくらクラブ

基調講演「岡山から食と農の未来を考える」  
 岸田芳朗 岡山商科大学経営学部 教授  
 パネルディスカッション  
 岸田芳朗 教授、近藤英和さん (合同会社 cotan 代表)  
 佐々木竜也さん (農業生産法人 (株) ワッカファーム)  
 日時：2015年1月17日 (土) 14:00 ~ 16:00  
 場所：ウィズセンター会議室  
 岡山市北区南方 2-1 3-1 きらめきプラザ 6階